

令和2・3・4年度 さいたま市教育委員会委嘱(研究指定)

Research Summary

豊かな心と健やかな体をもち、
輝き続ける太陽の子の育成



さいたま市立大谷場東小学校

6つの「食育の視点」を意識した主な取り組み

取組の動画や詳細
はこちら→



<全視点> 一人一授業



すべての先生が食育指導実践レシピを作成し、様々な教科で指導しました。

<視点4> 研究授業・協議会



2年2組の道徳「いただきます」で題材と食育を関連させ、ICTを活用し、食事に感謝することについて協議しました。

<視点2> 突撃！となりの昼ご飯！

<視点3>

<視点5>



他のクラスや本部の先生が給食指導に行きました。苦手な食材も頑張って食べる児童が見られました。

<視点1>

体験活動

<視点4>



1年生がグリンピースのさやむきを、2年生がとうもろこしの皮むきを、3年生がくわいの芽とりとヒゲとりを、ひまわり学級がゴーヤの収穫を実施し、給食として提供しました。

<視点1> 給食作り体験・給食室探検隊

<視点4>



職員が給食室を探検したり、給食を実際に作ったりして、調理員さんが衛生面や健康面に気を付けて、作っていることについて給食指導に生かしました。

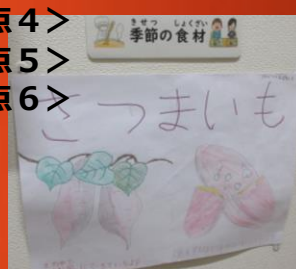
<視点1> 各委員会の取組

<視点2>

<視点4>

<視点5>

<視点6>



様々な委員会が掲示物やお昼の放送を通して、全校児童に食の知識や感謝の心を持つことについて伝える活動を行いました。

<全視点> ごちそうさまーる

食育×100%
ごちそうさまーる

11月4日(土) 郷土料理 おきだし 秋の味を味わおう

11月4日(土) 郷土料理 おきだし 秋の味を味わおう

11月4日(土) 郷土料理 おきだし 秋の味を味わおう

栄養教諭が食育メモを発行し、食材・料理や食文化の豆知識、生産者の思いなどを伝えました。

<視点1> シェフ給食

<視点4>

<視点5>

<視点6>



パレスホテル大宮の毛塚智之シェフをお迎えして、児童は普段とは一味違った給食を味わい、多様な食文化に触れることができました。

成果と課題 ○成果 ▲課題

- 食育動画で、他学年の授業や食育について学んだことを児童も知ることができた。
- 「残さず食べようとするのができたか」の質問に対し、96%の児童が肯定的な回答となった。学年が上がるごとに、残さず食べようとする児童が増えていく傾向がみられた。
- 食育の全体計画により、「どの単元でどのような食育の視点を取り扱うか」「食育に関連させることができる授業はどれか」を全教員が知り、食育の授業を進めることができた。
- 「マナーを守って、クラスで協力して食事ができるように努力しましたか。」という問いに対し、「できた」または「だいたいできた」という肯定的な回答をした児童が全学年において増えた。
- 一人一授業の取組を通して、様々な授業で食育に関連させることができると分かった。
- 掲示物を参加型にすることで、児童が食に興味をもっていた。
- 低学年の郷土食や行事食について「知っている・だいたい知っている」と肯定的な回答が77%から96%と飛躍的に上昇した。また、中学年・高学年も肯定的な回答が上昇した。「ごちそうさまー」で食事について伝えたり、食育に関する一人一授業で行事を取り上げたり、掲示物や給食中の声かけ等、郷土食や行事食について指導する場面が多くしたり、児童の意識の向上に繋げることができたと考えられる。
- 食事のあいさつについて、中・高学年ブロックは「できた」「だいたいできた」という肯定的な回答が96%以上という結果になった。低学年ブロックは1学期86%であったが2学期には97%に大きく増えた。日々、作ってくれた方や食材に対して感謝の気持ちを込めて食事ができたことが分かる。
- ほかのクラスの給食指導を行う際、4年以上は教科担任をしているため、どの先生が給食指導に入っても違和感なくできた。

- ▲アンケートにより、児童の変容を見ることができたが、それを生かして今後の指導について検討していく必要がある。
- ▲家庭で話したくなる食育について、どの程度家庭で話しているか把握できるとよかった。
- ▲簡単＆人気な給食のレシピを保護者に配信できると、家庭での食育にもつなげることができたと考えられる。
- ▲「突撃！隣の昼ご飯！」では、誰がどのくらいの量を食べるのか把握できていないので残飯が多く出るクラスもあった。

御指導いただいた先生方

<令和4年度>

さいたま市教育委員会	学校教育部	健康教育課	主任指導主事	安齋 卓彌	様
さいたま市教育委員会	学校教育部	健康教育課	指導主事	山本 知子	様
さいたま市教育委員会	学校教育部	指導1課	主任指導主事	鈴木 恵	様
さいたま市教育委員会	学校教育部	指導1課	主任指導主事	紺頼 麻子	様

<令和3年度>

さいたま市教育委員会	学校教育部	健康教育課	主任指導主事	秋山 昌代	様
さいたま市教育委員会	学校教育部	健康教育課	主任指導主事	安齋 卓彌	様
さいたま市教育委員会	学校教育部	健康教育課	指導主事	山本 知子	様

<令和2年度>

さいたま市教育委員会	学校教育部	健康教育課	主任指導主事	秋山 昌代	様
------------	-------	-------	--------	-------	---

研究に携わった教職員 (◎研究主任 ○研究推進委員)

<令和4年度>	船田 敦史	平山 昂	◎岩野 孝文		
	久保田美樹	本田 涼	○新井 弓翔	才藤 雅子	◎渡邊果乃実
	下山田遼子	岡田 忠晋	◎野尻美貴子	◎高嶋 一裕	蜂谷真梨子
○諸岡孝太郎	加藤 良之	星川 淳子		古畑 雄紀	高山 駿希
	酒田 翠	大西 浩子		菅野 充	岡本 範準
	並木 佳子	◎大野 公子		市川 久乃	奈雲 由美
	片岡 光子	堂園 直美		中嶋 陽子	福永 葉子
	クリスティン	齋藤田鶴子			

<令和3年度>	内山 一幸	横田 和子	後藤 七樹	吉村 美穂	引地 弘幸
	小櫃 純子	前川ユミ子	寺崎アサ子	岡 晴美	宮木 祐大
					温井 則久

<令和2年度>	山田 和宏	丸野 貴彦	櫛野 孝之	石黒 恵里	宮脇 吏可
	青柳 聖美	尾沢 明子	米村阿沙彌	キャリー・ルビー・オウ	

「輝き続ける太陽の子」を皆様と協力して育てていきたいと考えています。本研究に関する御意見・御感想を、右のQRコードからお聞かせください。



研究組織

セントラルキッチンミーティング（研究推進委員会）

トラットリア Oyaba Higashi（全体会）

パート研修

食育授業ブロック研修

シェフ部
・食育の指導法研究
・食に関する授業研究

ホール部
・食に関する環境整備

フロント部
・家庭との連携
・情報発信

赤の食材
(低学年)

黄色の食材
(中学年)

緑の食材
(高学年)

一人一授業の実施

シェフ部の取組

取組の動画や詳細はこちら→

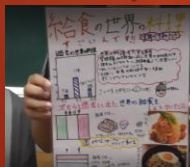


各学年では、どのような食育の授業をするのか、自分たちが学んだこと以外の食育の内容を知ることができました。

食育の観点を基に作成したアンケートの結果を踏まえて、授業づくりをしました。アンケートは、児童の変容を見取るのに効果的でした。

今年度実施した食育の授業も踏まえ計画の見直しをしました。次年度の授業の参考にすることも踏まえて作成しました。

< 5年生 国語 >
給食ポスター



< 3年生 社会 >
小松菜づくり
若谷さんの出張授業

1 ごまつなができるまで



心をこめてそだてています

< 5年生 家庭科 >
調理実習



食育メッセージ

各学年で取り組んだ食育に関する授業を他学年に発信しました。

食育アンケート

食育の実践前と実践後の児童実態を知るために児童向けのアンケートを実施しました。

食育資料の見直し

今年度の取り組みを基に、食育の全体計画や、給食時間の声かけメニューの見直しも行いました。

児童の活動について考え、実践しました。

<令和4年度学校課題研究全体計画>

学校教育目標

かしこく なかよく たくましく かがやく子の育成



スローガン やる気と自信にかがやけ 太陽の子



研究主題

「豊かな心と健やかな体を持ち、輝き続ける太陽の子の育成」

研究でめざす児童像

「豊かな心と健やかな体を持ち、輝き続ける太陽の子」

- 低学年：好き嫌いなく、みんなで楽しく食べることができる子
- 中学年：偏食せず、協力し合って、楽しい食事ができる子
- 高学年：感謝の気持ちを持ち、楽しい会食の仕方を身に付けることができる



研究の仮説

「食育の視点」をもとにした授業や取組を行うことで、食への関心を高め、豊かな心と健やかな体をもつ子に育つだろう

めざす児童像に迫るための

6つの「食育の視点」

〈視点1〉食事の重要性

食事に興味・関心を持ち、楽しく食事をする。

〈視点2〉心身の健康

手洗い、よい姿勢、好き嫌いせずに食べる。

〈視点3〉食品を選択する能力

衛生面に気を付けた準備・片付けをする。

〈視点4〉感謝の心

気持ちを込めて食事のあいさつをする。

〈視点5〉社会性

正しいはしの使い方・マナーを身に付ける。

〈視点6〉食文化

季節・行事にちなんだ料理やその文化を知る。



めざす児童像に迫るための 主な取組

☆研究授業の実施（各学年・各ブロックごと）

⇒授業前の指導案検討、授業後の研究協議会による振り返り、成果と課題の確認

⇒アクティブ・ラーニング型授業の推進

☆一人一授業の実施

☆各学年ごとの系統性を意識した「給食指導」

☆食に関する指導

⇒関連する教科や行事への位置付け

☆家庭・地域との連携

⇒学校だより、給食だより、保健だよりの発行
アンケートの実施による実態把握

☆委員会活動との連携

☆SDG s（持続可能な開発目標）との関連付け

ホール部の取組

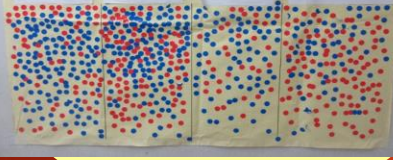
掲示物の詳細は
こちら→



あなたはどっち?

普段の食事から、一人ひとりの食習慣や食文化に違いがあることが分かりました。

カレーには?
豚肉 牛肉 鶏肉 その他



あなたはどっち?

普段の食事に関する簡単な調査を行いました。



まめちしき

『あなたはどっち?』に関する「なるほど!」「そうなんだ。」と、誰かに言いたくなるようなトピックを掲示しました。



子ども⇔おうちの方

子どもの意見(青いシール)とおうちの人の意見(赤いシール)を貼れるようにしました。



来校時、おうちの方にも投票をお願いすることで、食に関する家庭での様子を知ることができました。

「素晴らしい給食」情報板

地元の食材や若谷農園さんの話、三大栄養素など、誰にでも分かりやすく知ったかな情報を、毎月掲示しました。



給食調理室の様子を写真に撮ったり、三大栄養素についてウォールポケットを使った掲示にしたりして、児童の興味関心を引き出しました。掲示板の前で、友達と給食について話している姿をたくさん見ました。

テーマ「子どもが家で話したくなる食育」を設定し、掲示物を作成しました。

フロント部の取組

詳しいアンケート結果はこちら→



授業参観の待ち時間にQRコードを使って実施することで保護者の負担を軽減しました。

家庭での食育についてのアンケートを実施し、家庭での食への関心について知ること、学校で取り組むべき課題を見つけました。



保護者へのアンケート

保護者の思い出の給食を聞き、実際の給食で児童の提供したり、食育に関するアンケートを実施したりしました。

食育の取組の様子をホームページで配信し、児童の様子が保護者に分かるようにしました。



食育探検隊のホームページ配信

児童の食育に関する取組をホームページで配信しました。



保護者の思い出給食アンケートを行い給食に出すことで、食への関心を高めました。

家庭に情報を発信したり、提供してもらったりして、児童と家庭の食への関心を高める取組を行いました。